

なつやすみにおススメの本

2023

～中学生向き～

鎌倉市図書館

QRコードを読み取ると図書館ホームページの本の情報が出てくるので、予約してね♪

『ネット・スマホ攻略術』

山崎聡一郎／著 藤川大祐／監修

茅なや／イラスト&まんが

講談社（2021年）



Y 007.3



あなたは、自分自身や友だちを守れるネットの使い方って知ってますか？

いま、ネット・スマホによって、犯罪に巻き込まれたり、時間やお金を使いすぎたりする問題が深刻化しています。この本を読んで、ネット・スマホのルールやマナーを楽しく学びませんか？

『歴史とは靴である』

磯田道史／著

講談社（2022年）



Y 201.0



鎌倉女学院の高校生を前に磯田先生が行った特別講義を、まるでその場で授業を受けているような気持ちになれて、鎌倉の歴史についてもっと身近に感じられるようになれるかも。「好き」な気持ち、「知りたい気持ち」を突き詰めていく楽しさと、それを自分の生き方につなげるヒントを教えてください。

『ソロモン諸島でビブリオバトル』

『ぼくが届けた本との出会い』

益井博史／著 子どもの未来社（2020年）



¥ 333.8



ソロモン諸島って聞いて、パッと場所が分かる人はどのくらいいるのだろうか？この本は、そんな場所で読書を広めようと頑張った青年が、現地の子も大人達と悪戦苦闘する日々の記録がつづられています。ビブリオバトルを通して成長したのは、子どもたちなのか、著者なのか…。

そして、この本を読んでビブリオバトルに興味を持った人は、Let's Try！

『備えいらずの防災レシピ』

『食』で実践フェーズフリー』

飯田和子／著 東京法令出版（2020年）



¥ 369.3



地震や台風などいつやってくるかわからない災害。いつもの食事を、「もしもの場合」に備えて、この防災レシピで作ってみてはいかがでしょうか？炊飯器がなくても、お鍋とポリ袋があれば、おいしいご飯が食べられますよ！トマトソーススパゲティも海苔で味を調えるなんて、ちょっとした技もご紹介。ぜひ夏休みに1食でもチャレンジしてみてください。

『生きもの「なんで？」行動ノート』

きのしたちひろ／絵・文

S Bクリエイティブ（2023年）



¥ 481.7



人間は、危険を回避するために、見て聞いて得た（学習した）ことを取り入れて行動することがありますが、動物たちは、さらに過酷な状態（生命の危機）に陥ることが日常です。小さい動物、大きい動物、走るのが遅い動物、速い動物、動物にはさまざまな特徴があります。そんな彼らが、自らを敵から守るためにとる驚きの生態を集めた一冊です。この本を読むと、動物の心がより身近に感じられるかもしれません。

『オオカミ SPIRIT OF THE WILD』

トッド・K・フラー／著 竹田純子／訳

幸島司郎／監修 植田彩容子／監修

科学同人（2021年）



¥ 489.5



オオカミというと『三匹びきの子ぶた』や『赤ずきん』など昔話でおなじみですが、悪賢い、恐ろしい動物のイメージがある人も多いのではないのでしょうか。この本を手にとれば、そんなイメージは払拭されるはず。美しい写真が圧倒的な存在感をもって、オオカミの姿を切り取っていて、写真を眺めるだけでも、オオカミの魅力を十分に感じることもできる1冊です。

『日本庭園を楽しむ絵本』

大野八生／作 あすなろ書房（2021年）



¥ 629.2



日本庭園って知ってる？

岩や砂、水や苔（こけ）などなど、たくさんのいろいろなモノや道具を作って人工的に作った庭のこと。その歴史は古く、時代が変わるとともに様式も変わってきました。この本を読んだ後に日本庭園を見に行ってみましょう！どんなモノが使われているか、何時代の様式なのか、確かめてみたいと思いませんか？

『美術館って、おもしろい！』

展示会のつくりかた、働く人たち、美術館の歴史、裏も表もすべてわかる本』

モラヴィア美術館／著 阿部賢一／訳
須藤輝彦／訳 河出書房新社（2020年）



¥ 706.9



美術館って絵や彫刻が飾ってあるだけって思いませんか？この本を読むと、美術館の歴史や種類、ひとつの展示会を行うのに、どれだけの人を考え、動き、どれだけのかかる時間がかかっているかなどなど、普段は表しかみることのできない美術館を知ることができます。「美術館」を知って、美術館に行ってみよう！

『どうぶつ英語フレーズ大集合！』

河本望／著 宇田川新聞／絵
偕成社（2021年）



¥ 834.4



「うそ泣き」は英語では「Crocodile tears」（わにの涙）というそうです。こんなふうにはわかりませんが、英語のフレーズを見ると動物が出てくるものがいくつもあるんですって。この本は、そんな英語のことわざや慣用句を集めています。英語とその日本語直訳、意味まで分かって一石二鳥、いや、一石三鳥まちがいなし！例文を参考に、自分でも動物入りのフレーズを使って文章を作ってみたくなるかも。

『俳句部、はじめました』

さくら咲く一度っきりの今を詠む』

神野紗希／著 岩波書店（2021年）



¥ 911.3



いま、この瞬間、あとから考えたら、忘れてしまっているような、この一瞬…

俳句で切り取って言葉にしてみると、その時の情景や、心のゆれ動きが、鮮やかに思い出されます。想いを言葉にしたときから、作句が始まります。さあ、あなたも俳句の魅力にはまってみませんか？

『博物館の少女』

富安陽子／著 偕成社（2021年）



Y 913.6/トミ



明治16年、文明開化のころの東京。両親と死別し、親戚を頼って大阪からやってきた古物商の娘・イカルは、ひよんなきっかけから上野の博物館にある古蔵の手伝いをする。古蔵の収蔵品から消えた黒手匣^{くろてぼこ}をめぐる、イカルの謎とかが始まる…。イカルと一緒に秘密を解き明かそう！

『空から見える、あの子の心』

シェリー・ピアソル／作 久保陽子／訳
平澤朋子／絵 童心社（2021年）



Y 933.7/ヒ



はみだしものの男の子、ジョーイは芸術の才能を認められ、一躍人気者に。その才能を見出したのは、「友だちベンチ」系の女の子エイプリル。でも、エイプリルが「友だちベンチ」系になった理由は…。エイプリルもジョーイの挑戦に勇気をもらい、自分を変える努力をしていく。とても前向きになれる小説。



予告!!

図書館 de 一句

俳句・川柳 大募集!!

あなたの思いを
17文字に…。

テーマ「読書・図書館」

「読書・図書館」をテーマに俳句・川柳を作ってみませんか？

五・七・五の限られた文字の中で、自由に表現してみましょう。

応募期間は8月中旬～9月末を予定しています。

応募された作品は、鎌倉市内の図書館で掲示します。

詳しい内容が決まったら、図書館ホームページや図書館内でお知らせします。

学校にもチラシを配布するので、先生に確認してみてくださいね。



鎌倉市図書館 YA 委員会発行 2023.7

鎌倉市図書館 > ティーンズのページ >

